

CLUSTERPRO

MC StorageSaver 1.0 for Linux

リリースメモ

© 2013(Apr) NEC Corporation

- ☐ ライセンス
- ☐ パッケージのインストール
- ☐ セットアップ
- ☐ マニュアル
- ☐ 補足事項・注意事項

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Linux（以後 StorageSaver と記載します）の動作に必要な手順について説明します。

（1）商標および登録商標

- ✓ Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。
- ✓ SUSE は、米国およびその他の国における Novell, Inc.の登録商標または商標です。
- ✓ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における、登録商標または商標です。
- ✓ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ✓ その他、本書に登場する会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
- ✓ なお、本書では®、TM マークを明記していません。

目次

1	ライセンス	1
1.1	コードワードの取得	1
1.2	コードワードの登録	1
2	パッケージのインストール	2
2.1	動作環境	2
2.2	使用パーティションおよび必要容量	2
2.3	提供媒体	2
2.4	依存パッケージ	3
2.5	ソフトウェアパッケージのインストール	4
2.6	ソフトウェアパッケージのアンインストール	5
2.7	ソフトウェアパッケージのリビジョンアップ	5
3	セットアップ	6
4	マニュアル	6
5	補足事項・注意事項	6

1. ライセンス

1.1. コードワードの取得

本製品を導入する前に、あらかじめロック解除のためのコードワードを取得する必要があります。

製品添付の「コードワードについて」の手順に従って、コードワードを取得してください。

1.2. コードワードの登録

「コードワードについて」の「ライセンスツールのインストール」及び製品添付の「コードワード登録手順」の手順に従って本製品をインストールするマシンに、取得したコードワードを登録してください。

[手順の概要]

1. ライセンスツールのインストール

ライセンスツールをインストールします。

既にインストール済みの場合は本手順は不要です。

ライセンスツールは製品媒体の /Linux/licensetool ディレクトリ配下にあります。

2. コードワード登録ファイルの作成

コードワード登録ファイルを作成します。

既にファイルを作成済みの場合は本手順は不要です。

3. コードワードの登録

コードワード登録ファイルに取得したコードワードを登録します。

記述ミスなどが無い様に正確に記述してください。

4. コードワードの確認

コードワード登録ファイルに記載したコードワードが正しく登録されていることを確認します。

(例) # /opt/HA/license/bin/halkchecklicense -v UL4440-102

license OK

「license OK」と表示されることを確認してください。

2. パッケージのインストール

2.1. 動作環境

StorageSaver は以下の OS での動作を保証しています。

事前に OS のバージョンをお確かめのうえ、インストール作業を行ってください。

- Red Hat Enterprise Linux ES/AS 4.x
- Red Hat Enterprise Linux 5.x
- Red Hat Enterprise Linux 6.x
- SUSE Linux Enterprise Server 10 SP3
- SUSE Linux Enterprise Server 11
- Oracle Linux 5.x
- Oracle Linux 6.x

HW 構成の条件は以下のとおりです。

- IA32 および EM64T 搭載サーバ
(FC または SCSI インタフェース接続可能モデル)

2.2. 使用パーティションおよび必要容量

StorageSaver で使用するパーティションと必要なディスク容量は以下のとおりです。

ご使用前にお確かめください。

使用パーティション	必要容量
/opt	約 5.0M バイト
/var	約 60.0M バイト

2.3. 提供媒体

StorageSaver は以下の媒体に添付されます。

- CD-R (MDL144010101-2)

2.4. 依存パッケージ

- sg3_utils

StorageSaver は内部で以下のパッケージを利用します。

sg3_utils **Utils for Linux's SCSI generic driver devices + raw devices**

本パッケージがインストールされていない場合、事前にインストールしてください。

以下のコマンドでインストールの有無を確認できます。

```
# rpm -qa sg3_utils
sg3_utils-x.y-z.el5
```

※ インストールされていない場合、何も出力されません。

注意: x, y, z には sg3_utils パッケージのバージョン番号が入ります。

本パッケージは標準で OS インストール媒体中に含まれます。

- glibc (32bit 互換ライブラリ)

Red Hat Enterprise Linux 6.x (64bit) および Oracle Linux 6.x (64bit) のシステムに本製品をインストールする場合、事前に互換ライブラリ(glibc-x-y.el6.i686.rpm)がインストールされている必要があります。

互換ライブラリがインストールされていない場合、事前にインストールしてください。

以下のコマンドでインストールの有無を確認できます。

```
# rpm -qa glibc
:
glibc-x-y.el6.i686
```

※ インストールされていない場合、"glibc-x-y.el6.i686" の行が出力されません。

注意: x, y には互換ライブラリのバージョン番号が入ります。

本パッケージは標準で OS インストール媒体中に含まれます。

2.5. ソフトウェアパッケージのインストール

1. StorageSaver の含まれる CD-R 媒体を CD-ROM(DVD)装置に挿入してください。
2. mount(8)コマンドを使用して、CD-R 媒体を mount します。
(/dev/cdrom は CD-ROM(DVD)装置のデバイスファイル名)

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

3. rpm(8)コマンドを使用して StorageSaver のパッケージをインストールします。

```
# rpm -ivh /mnt/cdrom/Linux/rpm/clusterpro-mc-ss-w.x.y-z.i386.rpm
```

注意: Red Hat Enterprise Linux 6.x (64bit) または Oracle Linux 6.x (64bit) のシステムに本製品をインストールする場合、事前に互換ライブラリ (glibc-x-y.el6.i686.rpm) がインストールされている必要があります。

4. rpm(8)コマンドを使用して、StorageSaver が正しくインストールされたことを確認します。

```
# rpm -qa | grep clusterpro-mc-ss  
clusterpro-mc-ss-w.x.y-z
```

**注意: w, x, y, z にはバージョン番号が入ります。
機能強化があるとバージョン番号が更新されます。**

5. マウントした媒体を umount(8)コマンドを使用して、アンマウントします。

```
# umount /mnt/cdrom
```

6. 媒体を CD-ROM(DVD)装置から取り出します。

以上で StorageSaver のインストールは終了です。

2.6. ソフトウェアパッケージのアンインストール

1. デーモンプロセスを終了させます。

```
# /etc/init.d/srgctl stop
```

2. rpm(8)コマンドを使用して、アンインストールを行います。

```
# rpm -e clusterpro-mc-ss-w.x.y-z
```

注意: アンインストール時にクラスタを停止する必要はありません。
アンインストール時に /opt/HA ディレクトリは削除されません。
不要な場合、手動で削除してください。

2.7. ソフトウェアパッケージのリビジョンアップ

StorageSaver を本リリースにリビジョンアップする場合は以下の手順で行います。

1. 下記の SG ファイルのバックアップを取得します。

```
# cp -p /var/opt/HA/SrG/conf/srg.config /tmp  
# cp -p /var/opt/HA/SrG/conf/srg.map /tmp  
# cp -p /var/opt/HA/SrG/conf/srg.rsc /tmp
```

2. アンインストール手順に従い、旧リリースの StorageSaver をアンインストールします。
3. インストール手順に従い、本リリースの StorageSaver をインストールします。
4. バックアップした SG ファイルを元の場所に戻してください。

```
# cp -p /tmp/srg.config /var/opt/HA/SrG/conf  
# cp -p /tmp/srg.map /var/opt/HA/SrG/conf  
# cp -p /tmp/srg.rsc /var/opt/HA/SrG/conf
```

5. デーモンプロセスを起動してください。

```
# /etc/init.d/srgctl start
```

3. セットアップ

StorageSaver を使用するためには、SG・セットアップ作業を行う必要があります。

これらの手順については、媒体添付の『CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Linux ユーザーズガイド』を参照してください。

なお、クラスタシステムを構築した後であれば、SG 自動生成機能により容易に SG テンプレートを作成することが可能です。

4. マニュアル

StorageSaver のマニュアルは PDF 形式で CD-R 媒体に含まれています。

マニュアル名	ファイル名
CLUSTERPRO MC StorageSaver 導入ガイド	/Linux/manual/SS_guide_R3.pdf
CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Linux ユーザーズガイド	/Linux/manual/Linux_SS_readme.pdf
CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Linux syslog メッセージ一覧	/Linux/manual/Linux_SS_syslog.pdf
CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Linux Linux システム ディスクアレイ装置障害監視構築ガイド	/Linux/manual/Linux_SS_setup.pdf
CLUSTERPRO MC StorageSaver 障害復旧後の運用手順	/Linux/manual/SS_recovery_hw_error.pdf
CLUSTERPRO MC StorageSaver iStorage M シリーズ使用時の設定手順	/Linux/manual/SS_iStoM_setup.pdf
CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Linux パラメータシート	/Linux/manual/Linux_SS_parameter.pdf
CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Linux FAQ 集	/Linux/manual/Linux_SS_faq.pdf
CLUSTERPRO MC StorageSaver 1.0 for Linux はじめての StorageSaver	/Linux/manual/Linux_SS_tutorial.pdf

CD-R 媒体は Microsoft Windows からアクセスできます。

PDF ファイルを参照できるソフトウェアを使用してマニュアルを参照してください。

5. 補足事項・注意事項

特にありません。

CLUSTERPRO
MC StorageSaver 1.0 for Linux
リリースメモ

2013 年 4 月 第 2 版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目 7 番地 1 号
TEL (03) 3454-1111 (代表)



© NEC Corporation 2013

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙